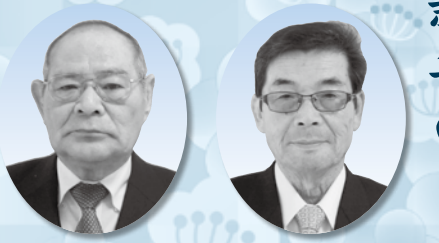


# 新年のごあいさつ



議長 林 久光  
副議長 山本 秀男

市民の皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また日頃より、市議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。昨年7月の豪雨により、江田島市も甚大な被害を受けました。厳しい財政状況の中、本市を取り巻く多くの課題について、市民の皆さまの声を十分お聴きし、本市のさらなる発展に尽力し議会活動に邁進してまいります。

なお、本市議会では、平成31年2月定例会から、インターネットでの議会中継が開始されます。多くの皆様に本会議を見ていただき、透明性を図るべく議会一丸となって取り組んでまいります。結びに、市民の皆様にとって健康で希望に満ちた幸多き年となるようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 平成30年 12月定例会



▲12月定例会

平成30年第5回定例会は、12月11日から12月18日までの8日間の会期で開かれました。初日の11日には市長の市政報告および議長報告の後、6人の議員が一般質問を行いました。翌12日には3人の議員が一般質問を行い、その後、公平委員の選任同意1件、人権擁護委員推薦候補者2名の諮問2件、条例の改正9件、条例の廃止2件、公の施設の指定管理者の指定1件、事務組合規約の変更1件の議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。3日目の13日には、一般会計、他4件の特別会計、および2件の企業会計の補正予算が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。4日目の18日には、議員発議による条例の改正1件が審議され、原案のとおり可決されました。

## 主な議案

江田島市議会議員及び江田島市長の選挙における選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部改正

市議会議員選挙において選挙運動のために使用するビラの作成を公費負担とする。

江田島市一般職の職員給与に関する条例の一部改正

江田島市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

江田島市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部改正

一般職、特別職（市長・副市長・教育長）、

「小学校設備整備事業について」

市内小学校のブロック塀撤去および冷房設備設置を行います。

## 委員の選任同意

公平委員として次の方を選任することに同意しました。

澤田 ひとみさん  
(大柿町大君)

## 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員は、市長の推薦を経て、法務大臣から委嘱されます。(任期は3年)

人権擁護委員候補者

横山 孝次さん  
(大柿町飛渡瀬)

長坂 睦子さん  
(大柿町柿浦)

## お詫びと訂正

議会だより第56号の3ページ・9月定例会記事の委員の任命同意について、監査委員の名前を三浦 和秀さんと掲載しておりましたが、正しくは三浦 和英さんの誤りでした。お詫びして訂正させていただきます。

## 特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正

職員による不祥事を招いた事態を重く受け止め、市長ならびに副市長の給料月額(31年1月分)を減額する。

再任用職員及び特定任期付職員は、期末手当・勤続手当を0・05月分引き上げる。  
議員の期末手当を0・15月分引き上げる。

## 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例

高田交流プラザを設置するに当たり、現行条例の一部を改正する。

## 江田島市児童館設置及び管理条例の一部改正

児童館の運営は、江田島市子ども・子育て会議において審議する。

子ども・子育て会議は、地域の方の意見を反映できる仕組みになっているのか。

公募による市民、子ども保護者、子育て支援に関する事業に従事する方に会議に入っていたとき、直接の意見をもらうこととなります。

## 江田島市土地開発基金条例を廃止する条例

土地開発基金から土地開発公社へ貸し付けをしていたものはどのように処理するのか。

## 江田島市教育集会所設置及び管理条例を廃止する条例

融光会館(大柿町)の廃止に伴い、現行条例を廃止する。

## 公の施設の指定管理者の指定について

江田島市海辺の新鮮市場の指定管理者を東江漁業協同組合(江田島町小用)に指定する。  
指定期間:平成31年1月1日から平成36年3月31日まで  
指定管理料:年間187万8千円

## 一般会計補正予算

「市シルバー人材センターへの補助金について」  
市シルバー人材センターへの320万追加補

## 助金の説明を。

市シルバー人材センターの補助事業に対して10月24日、厚生労働省から追加の補助内示があったので、その同額を市も補助します。

シルバー人材センターの内部からは補助金がなくとも十分に運営ができていたとの声があるが、その点をどう考えるか。

国の方針である事業、働きたい高齢者と働き手不足に悩む民間企業とのマッチングを行うという事業強化のため、事務局整備を行った結果、29年度決算で経常費用が赤字となっています。市が進める高齢者福祉施策が国と合致しますので、国と同様に増額補正をします。

建設業者など民間企業を圧迫していることを考えているか。

シルバーによる民業圧迫とならないよう

国と同額補助をする根拠は。

市が国と同額補助しなければ、国からも補助が出ないようになっています。

「岸根開発事業の公募審査にかかる費用・魅力ある観光施設整備事業の公募審査にかかる費用について」

岸根開発事業、魅力ある観光施設整備事業はプロポーザル方式で業者決定を行うことになっているが、プロポーザルや設計コンペなどの入札基準はどのように決めているのか。

入札基準は、プロポーザル方式を導入する場合、選定委員会を設けて決めています。